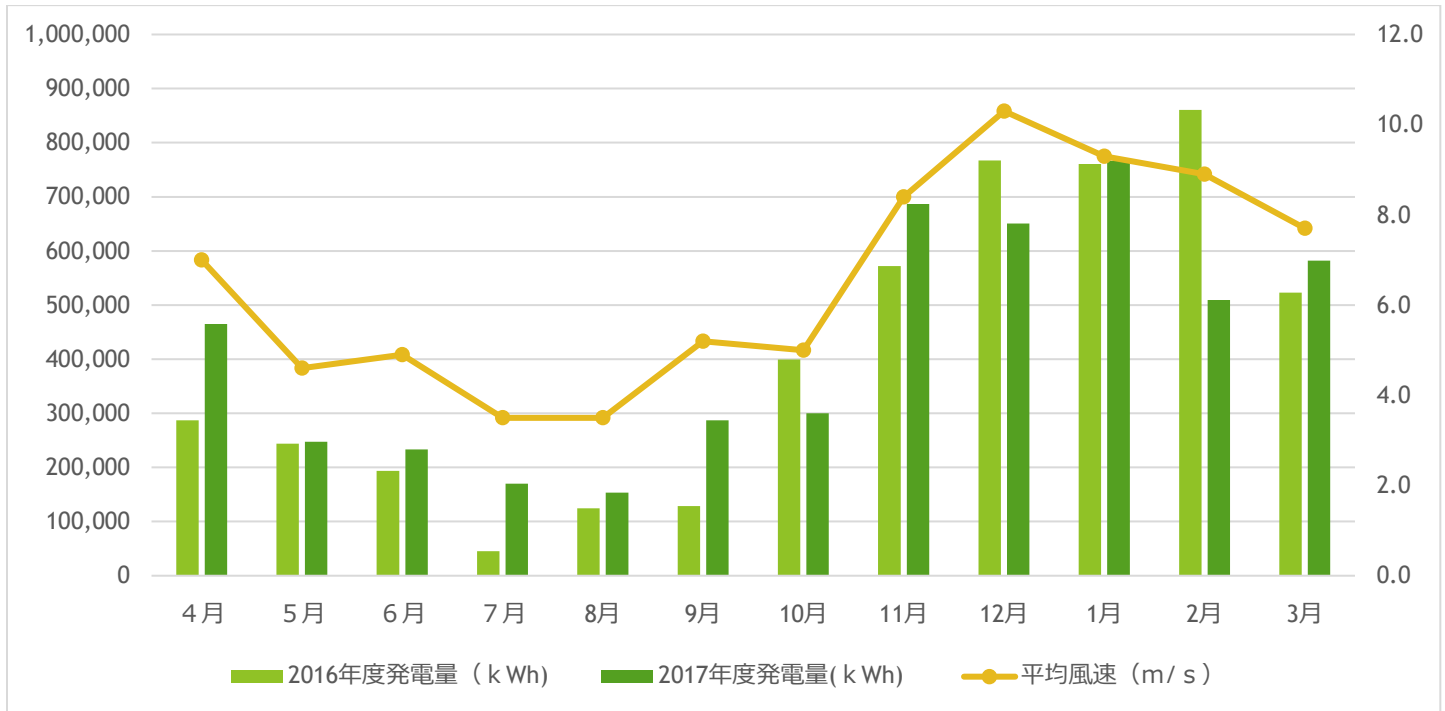


秋田県にかほ市に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉が建設した生活クラブ風車「夢風」に関するニュースをお届けします。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-6-9 大内ビル3F 一般社団法人グリーンファンド秋田

発行責任者 半澤彰浩(代表理事) 編集責任者 鈴木伸予

○ 発電実績



風車「夢風」運転状況について

- 風況は昨年同月に比べ1.4m/s高い実績となりました。
- 東北電力の要請により3/7に解列を行いました。
- 3月は、風況も良く、順調に稼働したことから、発電実績は前年比111.3%となりました。

2017年度年間発電実績

年間発電量 5,051,450 kWh

- 年間発電量は過去6年間で2番目に高い実績となりました。

| | 発電量 (kWh) | 平均風速 (m/s) | 稼働率 (%) |
|-----|-----------|------------|---------|
| 4月 | 465,321 | 7.0 | 92.6 |
| 5月 | 247,330 | 4.6 | 84.5 |
| 6月 | 233,257 | 4.9 | 82.9 |
| 7月 | 170,227 | 3.5 | 84.9 |
| 8月 | 153,380 | 3.5 | 97.9 |
| 9月 | 286,896 | 5.2 | 95.0 |
| 10月 | 300,077 | 5.0 | 95.8 |
| 11月 | 686,714 | 8.4 | 94.8 |
| 12月 | 650,687 | 10.3 | 80.5 |
| 1月 | 766,337 | 9.3 | 97.6 |
| 2月 | 509,194 | 8.9 | 82.2 |
| 3月 | 582,030 | 7.7 | 98.9 |

2017 年度第 2 回にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会幹事会報告

2018 年 4 月 13 日 (金)「にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会」の幹事会を開催しました。

連携推進協議会の共同代表の生活クラブ神奈川半澤専務を議長とし、連携推進協議会の 2017 年度活動のまとめと 2018 年度活動方針について、にかほ市自然エネルギーによるまちづくり基金条例の検討状況について、組合員リーダーツアー開催計画案、映画「おだやかな革命」のにかほ市での上映について、法政大学西城戸教授ゼミ合宿への協力依頼などを主な議案として協議が行われました。幹事会での議論をもとに 2018 年度総会の議案に反映します。

幹事会の最後に、4 月より新しくにかほ市の副市長となられた本田副市長より、こんなに深い取り組みが秋田県にかほ市で進められていたことを知り、良かったとの感想を頂きました。

また、4 月から交代された、にかほ市の新たな幹事会メンバーをご紹介します。

にかほ市副市長 本田雅之様、企画調整部部长 佐藤次博様、農林水産建設部部长 土門保様、
商工観光部部长 佐藤豊弘様、企画調整部まちづくり推進課課長 佐藤喜仁様、企画調整部まちづくり推進課連携推進班班長 山本正樹様



今回は、法政大学人間環境学部教授の西城戸先生、名古屋大学大学院環境学研究科教授の丸山先生にもご同行頂きました。

2017 年度第 2 回夢風ブランド開発生産者連絡会報告

2018 年 4 月 12 日 (木)「夢風ブランド開發生産者連絡会」を開催しました。

今回は、伊藤製麺所の伊藤代表を議長とし、2018 年度からの生活クラブとの物流ルール変更の確認、生産者連絡会の 2017 年度活動のまとめと 2018 年度活動方針についてなどを主な議案として協議が行われました。

生活クラブ首都圏4単協より、事業部の担当者も出席し、物流ルールの確認や、生産者の方々との交流を行い、今後のにかほの物産の取り組みをすすめるための確認と共有を行いました。

また、連絡会終了後に、生活クラブがテーマでトマトケチャップなど消費材と活動が取り合あげられているテレビ東京「カンブリア宮殿」の DVD を視聴しました。

首都圏4単協の事業部担当者によるにかほ市の視察を行いました

2018年4月12日（木）13日（金）で、連携推進協議会幹事会に同行し、にかほ市を訪問しました。夢風の見学、夢風ブランド開発生産者連絡会、にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会に参加しました。そして、13日（金）の午後に短時間ではありますが、夢風ブランド品の生産者「タラーメン醤油味」の伊藤製麺所、「べっぴんさんいちじく」の佐藤勘六商店、「鱈しょっつる」の日南工業株式会社の工場視察を行いました。



写真左から

生活クラブ東京常勤理事 赤坂禎博

生活クラブ東京事業企画課課長 酒井宏樹

生活クラブ埼玉事業管理課課長 八鍬隆司

生活クラブ神奈川企画電算課リーダー 島岡之

生活クラブ神奈川常勤理事 柳下信宏

生活クラブ埼玉共同購入課課長 小林一郎

生活クラブ千葉事業課課長 高橋広



(伊藤製麺所の伊藤代表

(左から4人目))

(日南工業株の細谷社長 (手前中央)

服部さん (左端))



生活クラブでんきのキャンペーンスタート集会に参加しました。

2018年4月20日、生活クラブ連合会主催のでんきのキャンペーンスタート集会にグリーンファンド秋田が生活クラブでんきの生産者として参加しました。



まず、基調講演として「自然エネルギー100%に向かう世界と日本」というテーマで公益財団法人自然エネルギー財団の常務理事大野輝之氏にご講演頂きました。自然エネルギーが急成長していること、その背景には自然エネルギーの発電コストの急激な低下があり世界の多くの地域で火力発電より安価になってきていることや、パリ協定と脱炭素化の動きがあるとのことでした。そして日本の新たな課題としては、石炭火力の新增設計画を止めること、系統接続制限など電力システムの制限を解消することなどを上げられました。そして原発事故から7年経った日本でも今、需要家側の企業から自然エネルギー100%の動きが始まっている報告を頂きました。

つづいて、「自然エネルギーへの転換と地域社会づくり～生活クラブでんきを選択することでの社会転換の可能性」というテーマでパネルディスカッションを、コーディネーターを法政大学の西城戸誠教授、パネリストを名古屋大学の丸山康夫教授、会津電力㈱の佐藤彌右衛門代表取締役、飯館電力㈱の千葉訓道取締役、生活クラブ都市生活の高岡敦子さん、基調講演の大野輝之氏で行われました。

消費者ではなく生活者となり、選ぶ力や背景を想像する力を持つことが大事だ。食料と水とエネルギーは地域でつくることや地域循環型経済が大事で、人任せにせず、自分たちでやるというコミュニティーの力が重要だ。大きな流れも小さなことから、いろいろな立場の人々がかかわり社会を変えていくことが大事だ。などのキーワードが議論されました。

最後に、生活クラブでんきの生産者として、グリーンファンド秋田も紹介されました。でんきの生産者が一同に会する機会は初めてでしたが、改めて風車のでんきを生活クラブに供給している仲間の方々とのつながりを実感しました。
(鈴木伸予)

